



## 今、世界で起きていることに想いをさせる

6月20日は「世界難民の日」です。この日は、紛争や迫害から逃れることを余儀なくされた人々の苦境に立ち向かう勇気を称える日です。

「難民」とは、人種、宗教、国籍、政治的意見または特定の社会集団に属するという理由で、自国にいと迫害を受けるおそれがあるために他国に逃れ、国際的に保護を求めている人々のことをいいます。また、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)によると、国際的・国内的な武力紛争や戦争から他国へ逃れてきている人々も、「難民」としています。

※ウクライナから避難されてきた方々を、現時点で政府は「避難民」と呼んでいます。

大阪市では、大阪市民を頼って避難されてきたウクライナの方々の当面の生活資金等を支援するため、「大阪市ウクライナ支援募金」を募集しております。これ以外にも、例えばUNHCRの活動を支える支援窓口「国連UNHCR協会」といった難民を支援する団体をサポートするなど、自分自身にできることを探してみてください。

戦争や軍事侵攻と対極にあるのが「多文化共生」です。人種・民族・出身国などで、他者を一方的にレッテルを貼らずに、まずはあいさつをするなどのコミュニケーションは、わたしたちにも気軽にできる「多文化共生」への大切な一歩です。

難民認定数の各国比較(2020年)



**ヘイトスピーチで  
お悩みの方(見た  
方、聞いた方も)は**  
市民局ダイバーシティ  
推進室 人権企画課  
電話:06-6208-7612  
FAX:06-6202-7073

### インターネット上での人権侵害にあったら

インターネットの掲示板や投稿サイト等でプライバシーの侵害や、差別的書込みなどの人権侵害を受けたら、対処方法の助言や、場合によっては法務局への削除要請やプロバイダに対する削除要請をすることもあります。

大阪市人権啓発・相談センター  
電話:06-6532-7830 FAX:06-6531-0666

### 「大阪市ウクライナ 支援募金」の募集

「ふるさと寄付金」を活用した募金。返礼品や記念品はありません。

大阪市経済戦略局国際担当

電話:06-6615-3757

FAX:06-6615-7433



## ごあいさつ

港区人権啓発推進協議会  
会長 板谷 廣二



平素は、港区人権啓発推進協議会の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

1978年の当協議会発足依頼、区内各種団体の代表者をはじめとしたみなさまの協力を得て、基本的人権の尊重を理念とする憲法の趣旨に沿い、区民の人権意識の高揚をはかり、人権尊重の明るいまちづくりを目指してきました。

新型コロナウイルス感染症がまん延して、3年目に入りました。昨年12月の人権週間の街頭啓発やレインボーカフェ3710の開催など、一昨年と比べると、感染症対策をとりながら開催できた事業がありました。これもご参加・ご協力いただいたみなさまのご理解があっ

てこそと、感謝申し上げます。

毎年、港・西・大正・浪速区の4区合同で開催している「人権展」「人・愛・ふれあいプラザ」は、今年度は「みなと人権展」としてオンラインとタブロイド紙を融合させた、新型コロナウイルス感染症のまん延時にも対応できる形態で実施していきたいと考えておりますので、いろんな形でご参加いただきたいと思います。

多様な人々が活躍できる、ふれあいと温もりにあふれた人にやさしいまちづくりに向け、今後とも地域に根ざした人権啓発活動に取り組んでまいりますので、引き続きのご支援をよろしくお願い申し上げます。

# 港区におけるLGBTQについての取組み

港区では、平成28年7月に策定した『大阪市港区まちづくりビジョン』に「世代や性別、国籍、文化、障がいの有無などの違いを認め合い、個性と能力が発揮できる社会をめざす」ことを掲げ、多様性を尊重しあう共生社会づくりの推進に取り組んでいます。港区のLGBTQについての取組みを紹介します。

## レインボーカフェ3710



平成27年10月から、LGBTQ当事者とその友人やアライ(協働パートナー)が、毎月第4火曜日の午後7時から港区民センターで集まり、多様性を活かし力にできるまちづくりを目指し、交流会の開催や区民まつりへの啓発ブースの出展など様々な取り組みを行なっています。

※ろう者が参加しているため、コミュニティ通訳者(有償ボランティアの手話通訳者)を配置しています。

※参加希望の方は港区役所協働まちづくり推進課(電話 6576-9975、FAX6572-9512)までお問い合わせください。

## SOGIESC (ソジエスク) について「あなたはどのあたり?」か、考えてみよう

平成から令和に変わって4年の月日が経ちました。近年「多様性」という言葉をよく見聞きすることが増えてきました。SDGs\*に関連した取り組みや2025年の大阪・関西万博の開催に向けて、多様性という言葉は今後さらに注目されることが予想されます。(※「SDGs(エスディージーズ)」は4面を参照。)

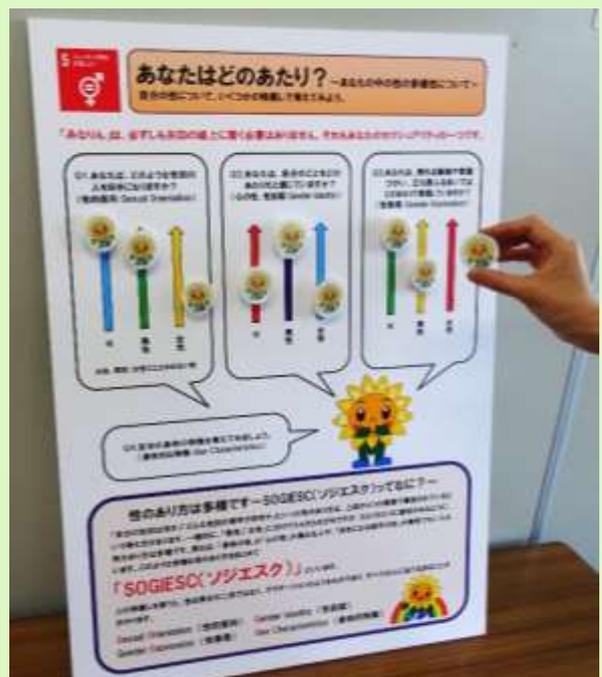
多様性の1つとして、みなさんが一人ひとり持っているセクシュアリティ(性のあり方)にも「多様性」があることはご存知でしょうか?セクシュアリティが持つ多様性は、主に以下の4つの要素で構成されています。

- ① **Sexual Orientation**: 性的指向(好きになる性のあり方)
- ② **Gender Identity**: 性自認(自認している性)
- ③ **Gender Expression**: 社会的な性/ジェンダー表現(表現したい性/期待している性)
- ④ **Biological Sex/Sex Characteristics**: 生物学的性(身体の構造における性/身体的な特徴)

4つのセクシュアリティの要素の組み合わせはすべての人に対して多様にあります。すべての人にある、セクシュアリティ(性のあり方)が持つ多様性を表す言葉として「**SOGIESC (ソジエスク)**」と表現することができます。

※SOGIESC(ソジエスク)とは、上記の4つを表す言葉です。

レインボーカフェ3710では、SOGIESCを自分自身で見つめることができるパネル『あなたはどのあたり?』を作成し、昨年の人権週間に開催した港区でのパネル展で紹介しました。①~③に関しては、「みなりんマグネット」を使って自分自身のセクシュアリティがどのあたりにあるのかを自由に動かせるようにしています。「④ 身体的な特徴」については「自分自身で考えてみましょう」と提案する形式にしました。「みなりん」は必ずしも矢印の線上に置く必要はなく、それもご自身のセクシュアリティの一つになります。



一般的に「男性」「女性」に分けてとらえられがちですが、SOGIESCの考え方は「男性」「女性」の枠だけで考えるのではなく、多様性を持った考え方を持つことが大切になります。

これをきっかけに、SOGIESCのパネルを使って、自身にある多様性を見つめてみてください。また、このパネルについての疑問や質問がある方は、レインボーカフェ3710へのご参加をお持ちしております。

(レインボー3710代表 津村雅絵)

どなたでも  
参加できる

## オープンスペース交流会をやっています！

まん延防止等重点措置が解除された3月、昨年度2回目となる「オープンスペース交流会」を港区民センターにて、レインボー3710主催で開催しました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、オンラインでの集まりが主流になる中、実際に対面での集まりを大切にしたいと思い、感染症対策を万全にしてリアル開催しました。

参加者は手話通訳者含む11名で、以前よりレインボー3710のオープンスペースに参加している方がほとんどでしたが、今回初めて参加して下さった方も数名おられました。話題は日本各地のレインボーパレードやフェスタ、3月に開催されたLGBTQを含めた多様性にフォーカスしたファッションショー『関西アライモ』に参加者がモデル出演したことなど、話は盛り上がりました。コロナ前と比べると人数は半分ほどですが、アットホームな雰囲気の中、

一人一人の話を傾けることができましたので良かったです。

最近、様々な地域でLGBTQのコミュニティスペースが増えつつありますが、それでも大阪市内では数える程度。今回、セクシュアリティのことやLGBTQ関連のことを気軽に話せる場として、リアル開催ができて良かったと思います。

令和4年度は2ヶ月に1回のペースで、港区民センターにて実施していく予定です。港区のホームページなどでもお知らせしますので、どなたでもふらっと気軽に立ち寄っていただけたらと思います。世代や性別、国籍・文化、障がいの有無などの違いを認め合い、個性と能力を発揮できる多文化共生をめざし、これからも居場所作りの一環として継続していきたいと思っています。

(レインボー3710 副代表 伊東カナト)



共催、港区役所

## 2021 第37回なにわ人権展を実施しました

令和3年11月1日(月)～令和4年2月28日(月)

### いま守りたい私たちの人権～ウイズコロナ・ポストコロナの社会を共につながり共に生きる～

私たちはいま、with コロナ社会を生きています。新型コロナウイルス感染症やその家族、医療従事者等に対する誹謗中傷やステイホームによるDV被害の増加など、さまざまな人権問題が生じています。そんな時代だからこそ『じんけん』について「誰か」のことでなく「じぶんごと」として、過去の歴史や正しい知識と情報をもとに区民のみなさまに考えてもらうことを目指しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、インターネット上で、期間中いつでも、どこでも、何度でもアクセスしていただけるデジタルリーフレットやオンラインでのパネル展、講演会、映像資料等の内容で実施しました。

#### ■よんで知ろう!—デジタルリーフレット—

感染症に関する差別の歴史や同和問題(部落差別)について、リーフレットを作成し、「なにわ人権展特設サイト」に掲載しました。また、インターネット環境がない方でもご覧いただけるよう、紙のリーフレットとして浪速区、西区、港区の区民の方や大阪メトロ全駅にも配架しました。



#### ■くわしく学ぼう!—オンライン講演会—

「シングルマザーと女性の貧困～コロナ禍で深刻化したこと～」

講師:山口 絹子さん

(NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ 関西理事長)

女性やシングルマザーへの食支援を通じた活動からコロナ禍で深刻化する現状について詳しくお伝えしました。

#### ■みて知ろう!—オンラインパネル展—

4つのテーマをデジタルでお届けしました。「with コロナ社会と人権について」「部落差別の歴史や現状について」「ハンセン病の歴史と回復者の生活について」「子どもたちからのメッセージ」

# 港区 YouTube チャンネル「だれでもわかるSDGs

## ～『わたしの暮らし』から『未来の世代』へ～

配信期間 2022年  
6月～8月(予定)



2015(平成 27)年9月、国連総会で、SDGs(エスディーゼーズ、持続可能な開発目標、Sustainable Development Goals)が採択されました。中でも SDGs の理念として、「誰一人取り残さない」ことを大切にしています。また、2025年の大阪万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けて、SDGs のゴールを目指すこととしています。



この度、港区役所では、関西学院大学非常勤講師の林泰子さんとレインボー3710代表の津村雅稔さんとの対談形式で、分かりやすい言葉でコンパクトに 30 分でまとめた解説動画を制作しました。私たちの日々の暮らしを通して、未来に生きる世代に社会をつないでいくためにできることを、半歩でも踏み出してみましよう。



「誰一人取り残さない」社会を目指す先には、私たちも生きていきやすく、また未来の世代も生きていきやすい社会に近づくことができることを、SDGs が伝えています。

## 知っていますか? 「やさしい日本語」

「やさしい日本語」とは、外国人など日本語があまり得意でない方に伝えるため、わかりやすい言葉や表現に言い換えた日本語のことをいいます。「やさしい日本語」を使うと、日本語があまり得意でない方と話すことができます。「やさしい」には、簡単を意味する「易しい」と、相手に配慮する「優しい」気持ちで話すといった 2 つの意味が込められています。

### 伝え方のポイント

- ①全体的にゆっくり話し、言葉ははっきり発音する。「土足厳禁」→「靴を 脱いで ください」
- ②一文を短く、区切って話す。
- ③難しい言葉は、簡単な言葉に言い換える。
- ④外来語(カタカナ)はできるだけ使わない。
- ⑤曖昧な表現はせずに、具体的に伝える。

### 言い換えの例

- 「映画館に行くことをキャンセルします」  
→「映画館に 行くことを やめます」

※「やさしい日本語」は、情報を伝える一つの手段です。情報を確実に伝えるためには、母国語等に翻訳して伝えることが大切な場合もあります。

### 大阪市人権啓発推進員の活動

大阪市人権啓発推進員は、人権問題への深い関心と啓発活動に意欲をもつ方々で、大阪市長より委嘱され、地域において人権啓発活動に取り組んでいます。毎年 12 月の人権週間期間に JR 弁天町駅周辺で開催している街頭啓発に参加しています。

### 差別落書きをしない・させない・許さない

差別落書きは、人の心を深く傷つける悪質な行為で、決して許されるものではありません。差別落書きを発見したときは見過ごさず、ただちに下記連絡先にご連絡ください。

### 人権にかかわる相談窓口

専門相談員による人権相談  
～ひとりで悩んでいませんか?～

[相談専用電話番号] なみやみゼロ  
06-6532-7830  
(FAX 06-6531-0666)

[平日] 9:00～21:00 [日祝] 9:00～17:30  
※土曜日及び12/29～1/3をのぞく

大阪市人権啓発相談センター(平日 9:30～17:30)  
お問い合わせ先  
06-6532-7631 (FAX 06-6532-7640)



大阪市人権啓発  
マスコットキャラクター  
にっこりな